

私たちの一票

第10号

投票で 豊かな四日市 きずこうよ



平成26年4月23日発行
四日市市明るい選挙推進協議会
(選挙管理委員会事務局内・諏訪町1番5号)



親睦旅行にて交流を深める皆さん（岡崎城）

みんなで育てる明推協 委員が支えて51年

明るい選挙推進協議会会長 高橋 佳子

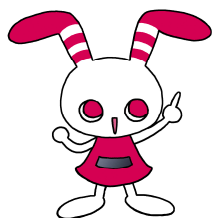
私たちの住むまち四日市市を住みやすく豊かにするためには、民主政治の根幹をなす選挙をもう一度見直す必要があります。有権者である市民が自覚をもって、進んで投票に参加し、私たちの意思が正しく反映される選挙、これが明るい選挙の基本です。

この活動が、四日市市では昭和38年2月8日の発足以来、今年で51年目を迎えることができたのも、明推協の委員のみなさまに支えられた賜物であり、これからも大切に育てていかなくてはなりません。

この運動の目的は、①選挙違反のないきれいな選挙を行うこと、②有権者がこぞって投票に参加すること、③有権者が普段から政治と選挙に関心をもち、候補者の人物や政見、政党の政策などを見る眼を養うこと（政治意識の向上）です。

今年は、昨年の参議院議員選挙のような国政選挙や地方選挙は予定されていませんが、来春には第18回統一地方選挙が控えております。選挙管理委員会と連携しながら、これまで以上に啓発活動に力を入れたいと思っています。





～ 私 の 選 挙 啓 発 活 動 ～

記念すべき第10号ということで、啓発活動に関して全委員に原稿をお願いしました。
いつも地区での啓発活動等に尽力いただき、お疲れさまです。

富 洲 原 地 区

- わが富洲原地区では、毎年地区行事として「夏まつり」「敬老会」「文化祭」が行われます。この人出のある折に、地区明推協として、有権者の方々に「啓発物資」を渡し、少しでも「選挙に関心」を持っていただくようにと「啓発活動」を行っています。

鈴 木 稔

- 昨年の7月、地区住民1000余名（老若男女）が集まる、富洲原地区の富洲原社会福祉協議会主催の地区夏まつりにおいて、明るい選挙推進協議会のうちわを、正しい選挙を呼びかけながら100枚程度家族参加の人たちに手渡しで配布いたしました。

天 野 茂 利

富 田 地 区

- 選挙は、カタチばかりのものでも他人事でもない。国政や県・市政に自分の想いを繋ぐ貴重な機会である。啓発ツールを配布することで、多くの人に“たかが”一票ではない自分の一票について考えていただくきっかけ作りの一助になればと思っています。

林 正 雄

- 選挙に無関心な人が、まだまだ多い昨今、選挙イベントなどを通して、一票の重みについて考えていただき、少しでも投票率の向上につなげていくことができればと考えています。

林 玄 雄

羽 津 地 区

- 明推協委員になって6年になります。投票立会いはともかく、啓発活動となると簡単そうで奥が深いと知らされました。地区運動会・文化祭などで物資を配布し、啓発活動していますが、いかに若年層に啓発するかと考えると考えさせられます。難しい課題であると考えています。

久 志 本 正 彦

- 近年、選挙と政治の無関心時代が拡大しつつあり、年代によって大きく異なっています。地域特有の実態に沿った活動に変更していくことが重要です。私たちは、更に努力しつつ地域社会と若者との関わりを増やすことが、関心度向上の「開き興し」ではないかと感じます。

山 下 英

- 私は、昨年度より、地区で行われる啓発活動に参加させていただくようになりました。そのせいか、娘たちは「選挙は必ず投票に行かないといけない」と思っているようで、少しは私の活動の影響があるようです。

安 田 久 子

- 明推協の委員になって2年目。地区催事（文化祭。運動会等）の際に、ティッシュ、うちわを配っているが、選挙投票の推進活動とすぐにはわかってもらえない様子なので、選挙時にはぜひ投票所に出かけていただくよう声かけに努力しています。

八 巻 敬 司

常 磐 地 区

- 「〇月〇日は〇〇選挙の投票日です」と四日市駅前でティッシュを配り街頭啓発をしていたとき、「わし選挙行かへん」と言う人がいて非常に残念な思いがしました。投票率を上げるにはどうしたらよいか、難しい問題です。地道に活動を続けていきます。

谷 崎 滋 夫

- 当地区は高齢者が多く、スポーツ大会や常磐祭り施設夕涼み会等で啓発物品を添え声掛けしている中で、以前より足腰が弱って行きたくても「投票所が遠い、数も少ない」との声があり地域の声を痛感します。啓発活動を通し不満や要望を聞くことも、委員としての一端かと思っています。

別 所 春 代

- 私たちの地域では、高齢者の方が月に一度お弁当持参で参加する「ふれあいの会」がもう2、30年も続いていて、毎年いろんなことを企画し楽しんでおります。6月に、その場をお借りして7月21日の参議院議員選挙に向けての啓発活動を行いました。

田 中 し ず 子

- 地区の方々に、一人でも多く選挙に関心を持っていただけるよう、盆踊り等、人々が集うときに啓発物資を配ったり、選挙が近づいてきたら身体の不自由な方々に「私の車で一緒に行きましょう」と声掛けし、ささやかながら活動を行っています。

齋 藤 勝 子

- 一番大きな啓発活動は、平成23年11月に四日市駅周辺でカイロを手渡ししながら道行く人に投票を呼びかけたことでした。小さなところでは、地域の文化祭でティッシュを配布しながら啓発活動を何度かしました。あとは選挙当日、家族に投票を呼びかけています。

藤 原 ゆ き 子

- 私の息子は、決まった日に行くのが面倒だと、以前は投票に行っておりませんでした。しかしある日、期日前投票の話をしたところ、それ以来欠かさず投票しております。この経験から、期日前投票について、特に詳しく説明するよう心がけています。

塚 本 和 泉

日 永 地 区

- 夏の地区行事でのうちわ配布啓発は、若者層から熟年層まで好評であるが、他の地区行事でのポケットティッシュ配布啓発においては、若者の選挙に対する関心のなさが著しく、今後の啓発のあり方を考える時期だと考えます。

鈴木 正 明

- 啓発活動を通じて感じたことは、有権者の選挙に対する意識が低いということです。選挙の度にある種の虚しさを感じながら活動していましたが、今後も一步一步地道な活動を通じて一票の大切さを訴えていくしかないのかなあ…という思いです。

寺 本 都 美 子

- 当初、「明推協」って何するの？と思い、早や2年。いろいろなところで、選挙の声掛け、物資配布に参加させていただき、さまざまな勉強をする機会がありました。これからも、身近なところで委員の方々と共に活動に参加していきたいと思います。

伊 藤 明 美

- 私は入会したばかりなのですが、日永ふれあい祭りでの“うちわ”の配布は季節柄好評でした。また、泊山小学校“ふれあい文化祭”においてティッシュと傷テープの配布を行いました。

平 良 直 美

四 郷 地 区

- 8月11日の笹川ふれあい夏祭りのうちわとティッシュを配布したところ、うちわは好評で品切れとなったので、ティッシュをやめてうちわの数を多くしたらどうか。また、11月3日の笹川ふれあい文化祭で傷テープとティッシュを配布したところ、あまり好評でなかったため、四日市市指定のゴミ袋3枚セットを配布してはどうかと思いました。

廣 森 義 招

内 部 地 区

- 平成21年度に明推協モデル地区となり、選挙啓発ポスターを文化祭で掲示した啓発活動を行って以来、毎年内部小学校、内部東小学校、内部中学校の3校に5月ごろポスターの提出依頼をしに出向き、応募のあった作品を11月の文化祭に掲示しています。

新 開 昇

小 山 田 地 区

- 自分の住む街を良くするため、投票は大切です。自分の一票では、何も変わらないという身勝手な判断と、誰が当選しても同じという政治への無関心が、低投票率となっています。私は、運動会や文化祭など人が多く集まる場所での啓発活動に頑張っています。

萩 伸 元

神 前 地 区

- 特に啓発活動に対して苦労したことはありませんが、物品を手渡す際、たまに、私はまだ未成年ですが二十歳になったら絶対選挙に行きますと、言って品を受け取る方がいました。立場上うれしかった記憶があります。

長 谷 川 朝 美

県 地 区

- 選挙が実施されない期間の啓発活動は特に有権者の関心が薄く周りも全然取り合ってくれない感があり、活動も盛り上がり欠ける。ここで一工夫が必要と思われる。みんなの知恵を出し合い、呼びかける言葉の一つも考えて、啓発活動を見直したい。

神 代 正 規

- 毎年夏まつりにうちわを配り投票を呼びかけているが、今年は参院選が終わったばかりだったので配布をやめた。「今年はうちわないの」と言われ、物配りでは苦労だけで啓発にはならない。投票率を上げるにはどのような啓発をすればいいか、皆で考えたい。

水 谷 秀 子

- 地域の行事、夏祭り・盆踊り・文化祭等において、啓発物品を配りながら、有権者だけでなく子どもたちにも選挙に関心を持ってもらえるような啓発活動に取り組んでいます。今後の課題として、若者向けの啓発活動の充実が必要と思われます。

赤 井 眞 知 子

- 明るい選挙推進協議会の一委員としての啓発活動は、地区幹事の指導の下、地区の行事の際、委員のたすきをかけ、選挙に行くようお願いしています。そのとき、久方振りの人に出会え、楽しく行っています。ただ、二十代の若者が少ないことが気になっています。

山 本 碩 幸

下 野 地 区

- 「戸位素餐^{しいそさん}」の言葉の意味を解説しながら、棄権がいかにより自らに不利益をもたらすかを考えていただき、少しでも投票率アップにつながるよう啓発活動を続けていきたいと考えています。

豊 田 隆





物資配布袋に啓発
文言を自筆して、
啓発実施中

八 郷 地 区

○ 私の選挙啓発活動といっても、なかなか自主的にはできないものです。地区の委員さんたちと地区の行事など多くの人が集まる時に、啓発物品を配布したり、選挙は棄権しないで投票に行つてと声掛けしたり、一票の大切さを伝えられればと思います。

石 田 隆 子

○ 委員になって早く2年が経った。啓発活動への参加は、最初は戸惑いもあったが、大きな声で呼びかけができるようになってきた。これからは、プラスαの活動も考え、若い方が家族連れで投票所に足を運んでももらえるよう、取り組んでいきたい。

進 士 弘

○ 学校内で授業参観を兼ねて文化祭を行うため、地域の人がたくさん集まり啓発活動も効果をあげています。「選挙はいつなの」と聞かれ戸惑うこともあります、「選挙のときは必ず投票に来てください」というと、「絶対行くから大丈夫」と言われて内心嬉しくなります。

山 尾 和 子

○ 若者への投票・選挙啓発活動に模擬投票を通して参加することにより、意識の萌芽や高揚を促す取り組みとして実施することにしました。自治会行事にあわせ、会場にて、のぼり掲揚、啓発物品配布を行い、法被着用で模擬投票を行いました。

伊 藤 征 雄

大 矢 知 地 区

○ 私は、名前だけの委員を20年近くお手伝いさせてもらい、何も役に立っていません。行事、研修、会議、傍聴など一応参加させてもらっています。委員になるまではぜんぜん選挙には無関心でした。人に頼まれて投票していた自分が恥ずかしいです。

林 純 子

○ 地区の盆踊りの会場で啓発活動をしました。「竹製のうちわなのでこれはいいいので貰うわ」とうちわは喜んでもらってくれましたが、選挙に対する関心があまりないようです。盆踊りに来た子ども達にも「お父さん、お母さんにもうちわ見てもらってね」と話しています。

三 宅 恵 子

○ 私は立会いのときの明るい声掛けを心がけています。「ありがとうございます」「お疲れ様です」この程度ですが、投票に来て気持ちよく帰れるならば、次の投票にも足を運んでもらいやすく、家族・知人にも「行こうよ」と心軽く声を掛けてくださるでしょう。

三 輪 真 純

水 沢 地 区

○ 水沢地区は自然環境を活かしたイベントや伝統行事が毎年開催され、地区外からも多数の見物人があります。この機会と場所を利用して、我々委員4人は常に協力し合って選管から預かった品で、ひとりひとりに選挙の投票を促す言葉をかける活動を行いました。

北 谷 勝 彦

○ 政治に無関心でなく、選挙を棄権しないことが大事だと思います。そのためには棄権せず投票所へ行き、自分が賛同できる人に投票することで、選ばれた議員も最後まで公約を守り我々も責任を持って見届ける必要があると思います。多くの人が投票を！

田 中 貴 美 子

○ 「えっ?!私か?!」と思いました。誰を選んでも同じだ!!と思っていた私は、選挙に関心がありませんでした。しかし投票日、投票に来てくださる方々を見て投票率の低さにみんなの投票に対する意識が必要だ!と思い、多くの地域の方々に声を掛けるよう努めました。

清 水 智 子

保 々 地 区

○ 若者の選挙に対する関心の薄さには、常日頃啓発活動に努力すべきだが、若者の集う場所、催し物が皆無に近いのが現状です。地区の自治会、各種団体の諸行事と町別のいろいろな集いのある場所へ行って啓発活動をしています。選挙に関心をもってもらうため一声をかけ会話に努めています。

山 川 憲 夫

○ 毎年夏休みに小学生の球技大会の試合が町対抗であり、父兄の方が応援にみえるので、啓発物資を配りました。夏の暑い日なので「うちわ」が好評でした。今年は中止になり啓発ができないため各町の老人会の奉仕の場へ委員が個別に行きました。

齋 藤 さ ち 子



○ 各世代の人への思いから、各イベント会場で声かけによる啓発を行いました。若い人たちの投票離れが多いといわれていますが、政治や選挙に関心を持ってもらい自分の一票を大事にするよう、学校、家庭、社会が真剣に取り組んでいく必要性を感じます。

相 馬 み ね

○ 年代別に集まる行事で啓発を行うこととし、小学校のドッジボール大会では家族の応援があることから効果的なので、試合開始前に（早朝6:30～）会場で入り口付近に分かれて啓発しました。また、地元スーパーでは買物客が多くなる昼前後に啓発活動をしました。

伊 藤 正 子

中 部 地 区

- 中部地区は、5つの連合自治会があり、それぞれ地区行事が組まれ日が重なる場合がたびたび発生し、5名の委員では十分な活動が出来ないため、委員の増加を望む。また、啓発物品も使い捨て品でなく長期身近に置ける物を考えては？ 例→シャープペン・ボールペン等

須 賀 亮 一

- 自治会、社協主催の行事で啓発物品を配布して選挙への参加を呼びかけておりますが、思うように投票率のアップに役立っていないようで、日ごろのコミュニティを大切に、投票日にはご近所で誘い合って投票所へ行かれるよう地道な啓発活動を続けたいと考えます

水 谷 謙 之

- 明るい選挙以外の啓発も多くあるので活動成果が見えにくく、近々に選挙がないときの啓発はなかなか気合も入りませんが、唯一の数字である投票率の向上に微力でも役立てればと、これからも活動していきたいと思ひます。

豊 田 百 合 子

- 街頭啓発地域の催しにおける啓発活動をし、選挙に行ってくださいとお願いをしている。若者の政治離れが深刻だ、自分のパートナーを選ぼうとしない。ネット選挙運動は解禁されたが、ネットの特性を活かしネット投票も若人のために。老若価値観の共有が大切だ。

三 日 市 存

海 蔵 地 区

- 情報をもとに地域の行事等には、委員の方々と積極的に啓発活動に取り組んできました。今後の目標としては、従来の経験を活かしながら取り組んでいくのは勿論ですが、私たちの活動を地域の方々に知ってもらえるのも大切ではないかと思ひます。

笹 原 久 子

- 明推協役員に委嘱されて、二年近くになります。先輩方々と地区行事を主として啓発活動に参加して、その重要性も認識してきました。近日に選挙がない折の活動は住人関心が薄く残念です。その時期に行う効果的な啓発活動を考えてみたいものです。

笹 岡 悦 三

- 日ごろ、地域の活動に参加していなかった私ですが、この活動で地域の行事を知る機会がもてました。地道ですが、人が集まる場所に積極的に出向いて選挙への関心を持ってもらえればいいなと思ひます。若い世代の集まる場所も探して参加できればと思ひます。

福 田 知 子

- 私は明推協委員になって5年になります。委員になってから、投票率の低さに驚きました。啓発物品を配布していても、若年層からの反応が低い気がします。もっと選挙への関心をもってもらえるよう、努力していきたいと思ひています。

森 下 尚 子

橋 北 地 区

- 私が明推協の委員になって18年くらいになると思ひますが、はじめは先輩の委員さんのあとをついて行くだけでした。最近では他の委員さんと地区での啓発活動の計画を立てて、各種団体の行事で地区のみなさんに声を掛けながら、啓発物品を手渡ししています。

山 本 江 里 子

- 私の地区では各種行事（運動会・文化祭・納涼祭・各種スポーツ大会）には啓発たすきを着用して皆様方に「選挙のときには投票に行ってください。また、選挙に関して気がついたこと等意見があったら話してください。」と話しています。

諸 岡 彌

楠 地 区

- 私の選挙啓発活動は、楠町の行事ごとの啓発を中心に活動し、投票への参加をお願いしています。また、投票立会人を依頼されたときは、投票者一人一人にありがとう、ご苦労様と声を掛け、労をねぎらうよう心がけ、投票者を覚えるようにしています。地味な活動です。

川 合 弘 吉

三河支会指導者研修会にて、
熱心に講演を聞く委員たち
(四日市市楠ふれあいセンター)

「『一票の格差』の縮小をめぐって」
講師:文教大学 根本俊男教授





よろしくお願いします

平成26年度委員名簿

平成26年4月1日現在

地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名
富洲原	生川 玉雄	常磐	塚本 和泉	小山田	萩 伸元	三重	服部 善男	大矢 知	三宅 恵子	中部	豊田百合子
	鈴木 稔		鈴木 正明		北尾 喜子		中島 幹雄		林 純子		三日市 存
	伊藤 盛恵		寺本都美子		水野 幸子		服部 健治		三輪 真純		藤田 幹雄
	渡邊 正憲		平良 直美		大川 陽子		中畠 一泰		筑紫 家孝		田中 紀子
	中林 伸夫		清水みどり		井上 進		國武 京子		加藤 初		川合田鶴子
富田	鈴木 典子		坂 美保子	川島	北川 幸男	県	加藤 重則	河原田	山田眞美子	海蔵	笹原 久子
	高橋 佳子	四郷	廣森 義招		鈴木 映子		中村栄一良		今村 亘		笹岡 悦三
	渡邊 堯子		古川とし子		駒田 明美		濱野 民男		大平さなえ		福田 知子
	渡邊佳代子		加藤喜代子		杉 恵子		神代 正規		高橋 艶子		森下 尚子
	荒木 厚子		平井 好章		水野 慶子		水谷 秀子		田中 啓之		前川千鶴子
羽津	稲垣 克子		伊藤 町子	神前	長谷川朝美	八郷	赤井眞知子	水沢	森 敏彦	橋北	北間 脩史
	久志本正彦	内部	森 勝生		川村きさ代		矢田 恵美		吉岡 一樹		山本江里子
	尾崎久美子		堀 正生		川村 一朗		進士 弘		鎌田ひとみ		塚脇 大仁
	山田 明美		田中 鈴子		館 史郎		石田 隆子		清水 智子		服部 富子
	八巻 敬司		光本 哲夫		郡山 以知	下野	山尾 和子	保々	廣田 通		諸岡 彌
常磐	安田 久子		浜名 京子	桜	川北 眞輔		三林 政見		市川 収	楠	川合 弘吉
	藤井 明		村木 茂		加藤 榮一		日置 得祐		齋藤さち子		新屋 正紀
	谷崎 滋夫	塩浜	前嶋 孝夫		伊藤 弘一		豊田 隆		伊藤 正子		藤田 倫子
	別所 春代		前田 祐子		神田 幹雄		須原 皓	中部	相馬 みね		中村 妙子
	田中しず子		佐藤志げ子		能勢 陽子		宮下 博一		須賀 亮一		須藤 弘久
常磐	齋藤 勝子		嶋田 律美		近藤 孝嗣		市川 哲		水谷 謙之		矢田美千代
	藤原ゆき子		永田 寛子		大谷内研一						

長い間ありがとうございました



平成25年度に退任された方

天野茂利、名倉忠昭、山本力(富洲原)、林玄雄、林正雄、荒木暁美(富田)、山下英、仲谷雄司(羽津)、小林幸子、伊藤明美(日永)、坂下悦子、館法生(四郷)、新開昇、田中昌枝、坂上茂子(内部)、今村明義、中村勝之、森法子(塩浜)、辻丈和(小山田)、小林三弘、腰地孝(川島)、井村義則、加藤正史、川森優(神前)、眞川勇、渡邊敏弘、渡邊佳世子、池村一三、伊藤末次(桜)、藤谷昌久、本田榮、白鳥和明(三重)、山本碩幸(県)、伊藤征雄(八郷)、筒井美知子(下野)、渡邊治、中村須美子(大矢知)、北谷勝彦、田中貴美子(水沢)、廣田俊隆、山川憲夫(保々)、坂口一昭(中部)、渡邊柳一、大塚義雄(海蔵)

広報委員会

委員長 萩伸元(小山田)

委員 伊藤征雄(八郷) 山田眞美子(河原田) 須賀亮一(中部) 鈴木正明(日永) 久志本正彦(羽津)

あとがき

- ◎一明るい選挙の機関紙「私たちの一票」も委員の温かいご協力で第10号を発行することができました。心より幾重にもお礼申し上げます。
- ◎一委員130人全員に「私の選挙啓発活動」についてひとことづつお願いし、第10号記念にふさわしく、みんなで飾ることができました。ご寄稿に感謝します。
- ◎一來春の4月は選挙の当たり年。県知事、県議会議員、市議会議員の選挙が行われます。啓発活動とともに期日前投票の立会などお世話になります。よろしくご協力をお願いします。
- ◎一今年は委員の改選期。長い間お世話になった方が去られ、一抹のさびしさを感じますが、その分、新委員に期待して、お互いに力を合わせ、会長を先頭に、歴史ある明推協を盛りあげていこうではありませんか。

(萩 伸元)

※「私たちの一票」はホームページにも掲載しています。(http://www.city.yokkaichi.mie.jp/senkyo/akaruisenkyo.html)